

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 青葉の里作成日: 平成 29 年 10 月 19 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的に開催しているが、会議のメンバーが固定化して、内容も画一化しているので、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員を有識者、知見者、薬剤師、複数の民生委員等から参加を募り、会議の活性化を図り、ホームの発展だけでなく参加委員にとっても情報や知識得る充実した会議となるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	21	日常的な外出支援	外出は利用者の気分転換と、季節を五感で感じてもらえる機会であるので、車椅子利用者も、戸外に出掛けて、太陽の日射しを浴びて、生きる力を引き出す支援に取り組む。	家族やボランティアの協力を得て、利用者の日常的な散歩や買い物に出掛けたり、職員が利用者の、外気浴に繋がる外出を実施して気分転換を図り、利用者の生きがいに繋がる外出支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。